

役員会議事録

平成17年6月14日(火)
11時00分から11時55分まで
役員会議室

出席者

議長	仙道富士郎(学長)				
理事	沼澤 誠	鬼武一夫	田村幸男	松井良業	
監事	本木正光				
列席者	総務部長	財務部長	学務部長	施設部長	
	総務課長	企画課長	人事課長	財務課長	経理課長

議事

1 平成17年度資金運用計画(案)について

財務部長から、本件について、事業資金の運営は従来どおりであるが、寄附金の運用については、3億円を中期国債(5年国債)で運用したい旨説明の後、学長から本件について提案があり、了承された。

2 国立大学協会東北地区支部会議について

去る6月9日仙台ホテルにて開催された本件について、次のような報告があった。

(1) 第3期科学技術基本計画の重要政策(中間とりまとめ)について

学長から、本件について資料2(第3期科学技術基本計画の5つの戦略)に基づき報告があった。

(2) 教員養成の在り方をめぐる最近の動向について

沼澤理事から、本件について、中央教育審議会の教員養成部会では、専門職大学院と免許制度が議論されており、専門職大学院については、8月中にワーキンググループで中間報告を出すとのことであったが、本学では、新学部(地域教育文化学部)と、この問題に対して議論していないので、早急に検討する旨発言があった。

(3) 人事院勧告への対応について

学長から、本件について資料2(資料3-1~3)に基づき報告があった。

3 平成18年度特別教育研究経費概算要求について

財務課長から、去る6月7日に文部科学省担当課に事前打ち合わせに行き、指摘を受けた事

項を踏まえ、学長と相談した結果、資料3のとおり順位を付した旨説明の後、学長から、本件について提案があり、了承された。

4 医学部医学科後援会費の不正経理に係る調査報告について

田村理事から、本件について資料に基づき説明があった。なお、一昨日本人から辞表が提出され、その方向で進んでいる旨報告があった。

関連して、退職金について減額できるか意見があり、現在の規則では、減額できないので、今後に向け人事課で検討することとなった。

なお、人事課長から、本件については、規則上、経営協議会に報告するものである旨発言があった。

5 その他

(1) 大学改革シンポジウム(高等教育と国立大学の役割)について

企画課長から、去る6月8日学術総合センターで開催された本件について、資料5に基づき報告があった。

(2) 山形県地域教育推進協議会について

沼澤理事から、本件については、7月8日に開催予定である旨、また、議題については資料の中から3件程度に絞り、オープン(公開)で開催したい旨発言があった。

(3) キャンパス・ハラスメント防止等に関するフローチャートについて

沼澤理事から、本件については、前回の教育研究評議会で要望があったため、防止委員会と対策委員会を中心としたフローチャートを作成した旨説明があった。

また、緊急時対応カードについても作成中であり、今回資料としたのは暫定版であるが、今後文言等を精査して、学生全員に配付する旨説明があった。

(4) 将来計画専門委員会の下に置かれるワーキンググループについて

学長から、去る5月18日開催の役員会において、本件ワーキンググループ委員構成への意見を踏まえて、再度調整した旨資料6に基づき説明があった。

また、学長から、WGの名称については、1案の「人事配置基本計画WG」としたい旨提案があり、了承された。

なお、田村理事から、人員配置について減らすとなった場合に、人件費だけで減らすのか、物件費で減らすのか、比重のかけ方についてWGでは議論できないので、役員会で検討して欲しい旨意見があり、来週中に役員会を開催することとなった。

配付資料

- 資料1 平成17年度資金運用計画（案）
- 資料2 社団法人国立大学協会東北地区支部会議
- 資料3 18年度特別教育研究経費要求事項の選択や優先順位付けにあたって(案)
- 資料4 調査報告
- 資料5 第1回大学改革シンポジウム - メモ
- 資料6 将来計画専門委員会の下に置かれるワーキンググループについて
- 資料 山形県地域教育推進協議会協議題について
- 資料 キャンパス・ハラスメント防止等に関するフローチャート
- 資料 キャンパス・ハラスメント防止等に関する緊急時対応カード